

わくわく 本だな



こんげつのおすすめ

- ★ = 1・2年
- ★★ = 3・4年
- ★★★ = 5・6年

『モリス・レスモアとふしぎな空とぶ本』

(えほん) ウィリアム・ジョイス/作

おびか ゆうこ/訳 徳間書店



本が大すきなモリスは、空をとぶふしぎな本にであいました。あとについていくと、動き回る本でいっぱいの家があったのです。

『だれかさんのかばん』 ★

森山 京/作 高橋 和枝/絵 ポプラ社



シカのおじいさんは、木のえだにかばんがさがっているのをみつけました。ひるま、あそんでいた子どもたちのわすれものでしょうか？

『ゆうれい回転ずし本日オープン!』★★★

佐川 芳枝/作 やぎ たみこ/絵 講談社

“この世”ですし屋を開店したゆうれいの一平さん。天国の昭さんから、「いじめられている孫を助けて」と、たのまれているのですが…。



『犬とまほうの人さし指』★★★

堀 直子/作 サクマ メイ/絵 あかね書房

わかには、ドッグスクールでユイを見かけます。ユイは、人さし指で指示を出し、犬を走らせたりジャンプさせたりしていました。



『夜の小学校で』 ★★★

岡田 淳/作 偕成社



ぼくは、不思議な小学校でけいびの仕事をしている。夜には、校舎より大きな大男や魔法使いがあらわれる学校なんだ。

『はじめましてモグラくん』(ちしきの本)

川田 伸一郎/作 少年写真新聞社



日本は、いろいろな種類のモグラがすむモグラ天国です。新種を発見したモグラ博士が、なぞの生活をときあかします。



あたらしく はいた本

『アナベルとふしぎなけいと』 (えほん)

マック・バーネット／作 ジョン・クラッセン／絵
なががわ ちひろ／訳 あすなる書房



アナベルは、ふしぎなけいとをひろいました。どれだけあんでもけいとはなくならないのです。

『がっこうにんじゃえびてんくん えびてんききいっぱつ!』 ★

村上 しいこ／作 真珠 まりこ／絵 岩崎書店

クラスのなつみちゃんが一しゅうかんもがっこうにこない! カズキは、にんじゃのえびてんくんといっしょに、なぞをさぐることにします。



『ヘンダワネのタネの物語』 ★★★

新藤 悦子／作 丹治 陽子／絵 ポプラ社



日本でくらすイラン人のアリは、イランの言葉や文化をかくそうとしていました。でも同級生の直はイランに興味しんしんです。



『パオアルのキツネたいじ』 (えほん)

蒲 松齡／原作 蔡 皋／絵

中 由美子／訳 徳間書店

おかあさんが、キツネにとりつかれてしまいました。パオアルは、キツネをたいじするため、すみかをつきとめようとします。



『おかあさんの手』 ★

まはら 三桃／作 長谷川 義史／絵 講談社



おかあさんとおだんごづくり。こねてちぎってまるめて。おかあさんの手はまほうの手だね。

『パイとねこと秘密のレシピ』 ★★

サラ・ウィークス／作 成瀬 瞳／絵

海後 礼子／訳 岩崎書店

なくなったポリーおばさんはパイ作りの天才でした。その秘密のレシピをねらうどろぼうがあらわれ、めいのアリスは犯人さがしを始めます。



『かかしのトーマス』 ★★★

オトフリート・プロイスラー／作 吉田 孝夫／訳

ヘルベルト・ホルツィング／絵 さ・え・ら書房

キャベツ畑にいるかかしのトーマスは雨が大きらい。日でりが続いて喜んでいましたが、大事なキャベツはぐったり…。

『はじめてでもできるかんたんティッシュ 工作』 (ちしきの本) 駒宮 洋／作 学研

ティッシュを切ったりまるめたりして、白鳥やめがねを作ってみよう。なれてきたら、むずかしい「あげはちょう」にちょうせん!



『農家になろう2 ミツバチとともに』 (ちしきの本)

大西 暢夫／写真 農山漁村文化協会

ミツバチを飼ってハチミツをとる農家。寒い冬をのりきるために、ハチと巣箱にある工夫をしています。



読みたい本、さがしている本は窓口で聞いてね! としょかんのホームページも見てください。

< 編集・発行 > 富山市立図書館 富山市丸の内1丁目4-50 電話 076-432-7273